

デーリー東北
2017年（平成29年）3月12日（日曜日）（2）

備えの大切さ再認識

八戸で防災フォーラム



防災意識の高揚を図ったフォーラム
＝11日、八戸市福祉公民館

東日本大震災から6年の節目に合わせ、八戸市と八戸工業大は11日、市福祉公民館で「3・11防災フォーラム2017」を開催した。市民ら約110人が参加し、津波や河川水害に対する防災についての講演、

研究成果の発表などを通じて、万が一の場合の備えや迅速に避難する大切さを再

認識した。

長谷川明学長、小林眞市長のあいさつに続き、市防災危機管理課の担当者が、震災からの復興の経過を振り返りながら、防災力強化に向けた取り組みを報告。

馬淵川の水害対策について講演した青森河川国道事務所副所長は、近年河川の洪水被害が全国各地で相次いでいる現状を踏まえ、ハード整備とソフト対策の一体化などで被害を最小限に食い止める重要性を強調した。

会場では、震災が発生し

た午後2時46分に合わせた参加者全員で黙とうしたほか、防潮堤や地域コミュニティをテーマにした同大教員による開発・研究に関する発表、写真など9万点を集めた「青森震災アーカイブ」の紹介なども行われた。

（水野大輔）